

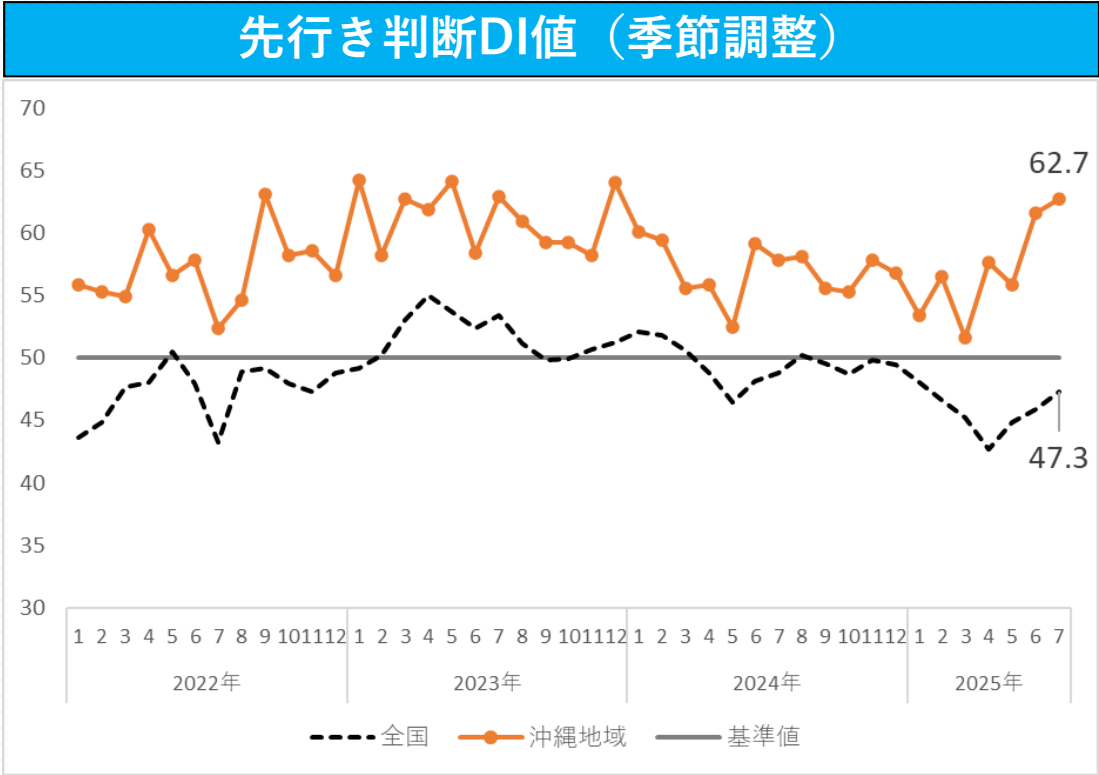
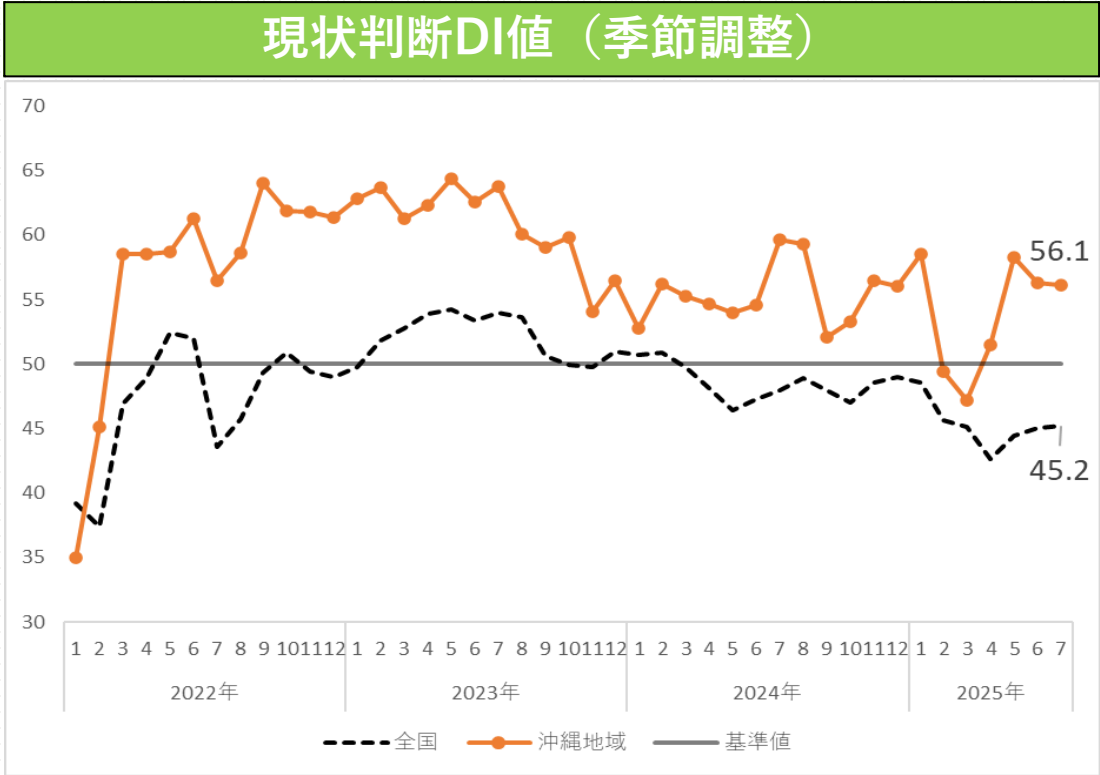
景気ウォッチャー調査 (沖縄地域) ～2025年7月調査～

〔 大型レジャー施設周辺の小売や飲食の需要も好況
大型レジャー施設に対する需要拡大の期待感が続く 〕

一般財団法人 南西地域産業活性化センター

2025年7月調査DI値（季節調整値）

- 現状判断DI（季節調整値）は、前月比0.2ポイント微減の**56.1**となったが、判断基準の50を上回り好況である。
- 先行き判断DI（季節調整値）は、前月比1.1ポイント増加の**62.7**と、判断基準の50を上回っていることから2～3か月後の景気動向も好況が続く見通しである。
- なお、全国の現状判断DI値は45.2、先行き判断のDI値は47.3と共に前月比で上昇したが、判断基準となる50を下回り、不況傾向が続いている。



現状判断のコメント①

- 「家計動向関連」では、観光名所においてインバウンドが増加している。さらに、通信会社では端末価格の高止まりによる買い控えがみられるものの、企業の取組により回復の兆しが見え始めている。
- ホテル関連では、大型レジャー施設のあるエリアで来客数が増加しているものの、都市部では開業が相次ぎ、供給過多となっている。さらに、旅行代理店では、大型レジャー施設の開業により、観光客が増加したことで宿や航空単価が高止まりし、県内の観光需要にも影響を与えている。
- 一方、7月は天候の悪い日が多く、前月が恵まれていたことによる反動もあり、コンビニなどで客足が減少している。

<家計動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

○	観光名所	購入単価が高いインバウンドの来客数が増えている。
○	通信会社	端末価格の高止まりや節約志向の影響で、買い控えの傾向がみられたものの、夏商戦の販売促進施策や72か月の長期分割払いの柔軟化などにより、徐々に回復の兆しが見え始めている。
□	観光型ホテル	宿泊施設への来客数は前年を上回っているものの、地域による差が大きく全体では余り変わらないとみている。大型レジャー施設が開業するエリアは比較的好調だが、都市部は新規競合施設の開業が相次ぎ、供給過多となっている。
□	旅行代理店	大型レジャー施設開業や観光客の増加により、需要が見込める宿や航空単価が早くから高止まりしているため、なかなか県民の利用が伸びていない。
▲	コンビニ	前月は梅雨明けも早く、雨が少なかったこともあり、客足は好調であった。一方、7月に入ってから天候が悪く、前年と比べ客足が減少傾向である。前月の反動もあってか、下向きとみている。

現状判断のコメント②

- 「企業動向関連」では、輸送業において、大型レジャー施設周辺のコンビニ、スーパーや飲食店などの発注が増加していることから、周辺地域の需要が拡大していることが伺える。一方で、窯業土石業では、原材料価格の高騰により、利益率が低下している。
- 「雇用関連」では、求人情報関連において、施設管理やビルメンテナンス、コンビニ、スーパーなどの一部求人が減少傾向である。一方、大型レジャー施設の募集継続により、周辺の人手不足が広がりをみせていることから、全体としては横ばいとなっている。
- その他、学校においては、2027年卒向けのインターンシップの案内が例年より少ない傾向にある。

<企業動向関連>		◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている
○	輸送業	大型レジャー施設の開業に伴い、周辺のコンビニやスーパー、飲食店等の発注が増加している。
□	窯業土石業	見積依頼、受注、生産とも大きな変化はないが、原材料価格の高騰により利益率が低下している。

<雇用関連>

□	求人情報誌製作会社	3か月前と比較して、求人件数は横ばいである。施設管理やビルメンテナンスの求人数が微減している。また、コンビニやスーパーなど流通系は減少傾向にある。一方で、大型レジャー施設開業に伴う募集が継続しており、その影響で周辺エリアでは人手不足が広がっている様子がみられる。そのため、全体の求人件数は想定よりも落ち込んでいない。
▲	学校	2026年卒向けの求人数は例年どおりではあるが、2027年卒向けインターンシップの案内が例年より少なくなっているようにみられる。

先行き判断のコメント①

- 「家計動向関連」では、小売やその他サービスにおいて、大型レジャー施設による需要拡大の期待が続く。加えて、旧盆を機に家族連れや大学生などの帰省による需要の増加も期待されている。
- 一方、一部のスーパーでは、最低賃金の改定が営業利益への影響も予測されることから、収益体制の見直しが必要になるとみられる。

<家計動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

◎	スーパー	・ 2～3か月先の景気は、政府による電気・ガス料金支援の継続、夏の観光シーズン本格化と大型レジャー施設開業による新規需要の拡大が期待される。さらに夏季ボーナスの支給や、夏祭りなど様々なイベントの開催、9月には旧盆における消費活動の活発化により、今月よりも良くなるとみられる。
○	百貨店	・ 国内外観光客の増加が期待できるほか、地元客の旧盆需要や夏休みによる家族連れの来店増加が見込まれる。
○	コンビニ	・ 8月は7月同様に集客が見込める。9月は、大学生の夏休みを利用した観光需要や旧盆で帰省する人の集客が見込める。周辺施設のイベントも多々あり、集客に期待している。
○	その他専門店 [書籍]	・ 今夏は沖縄が涼しく避暑地であるとの報道も多数みられており、大型レジャー施設開業の影響で、更に注目が集まっていることから9～10月にかけて訪れる人は増えるとみている。
○	その他サービス 【レンタカー】	・ 先行きの受注状況は前年を上回っている。特に個人の動きが良く大型レジャー施設開業の影響により、今後も受注につながるとみている。
▲	スーパー	・ 10月の最低賃金の改定により、沖縄県でも恐らく4けたの額面になるとみている。全体の賃上げになることは望ましいが、確実に営業利益に影響が出てくるとみている。収益体制の見直しが急務である。

先行き判断のコメント②

- 「企業動向関連」では、コスト上昇の影響はあるものの、一定の需要は見込んでいる。建設業では、法人関連の工事は好況であるが、住居着工戸数は減少が続いている。また、広告代理店でも、販売促進活動は動いているものの仕入や人件費コストの影響により予算規模が維持、もしくは微減傾向にある。
- 「雇用関連」では、求人確保に向けた動きが続くとみられる。例年であれば、年末商戦に向けて飲食、サービスの採用が増加するが、物価高騰による広告費や人件費を抑える動きもみられることから、前年並みの動きを見込んでいる。一方、新卒採用に向け、SNSを利用して求人紹介する企業も出てきており、学校やナビサイトを利用しない求人展開が見込まれている。

<企業動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

○	建設業	法人関連のビルや事務所、倉庫等の工事の引き合いは良いものの、住居関連は、着工戸数減少が続いているため、プラスマイナスで少し良い状況であるとみている。
□	広告代理店	県内企業の販売促進活動は、着実に動いているものの、仕入コストや人件費コスト等の上昇の影響もあり、予算規模は維持、あるいは微減の傾向にあるとみている。

<雇用関連>

□	求人情報誌製作会社	飲食、サービス関連では年末商戦に向けた採用が動き出すとみているが、物価高騰の影響により広告費や人件費を抑える動きもみられる。そのため、大きな増加にはつながらず、前年並みの動きにとどまる見込みである。
□	学校	若者のSNS利用状況を踏まえ、動画などで求人紹介をする企業も出てきており、今後は、学校やナビサイトを利用しない求人展開が増えてくるとみている。

<用語の説明>

【景気ウォッチャー調査】

- 地域の景気を観察できる立場にある人々から、統計指標だけでは把握できない顧客の様子など日々感じている街角の景気動向を迅速に把握するため、毎月実施されている調査。

【DI値】

- 物価などの景気変動に関する複数の指標から、景気の方方向性や各経済分野への波及度合いを示す。値が50を上回ると景気が好況傾向にあり、50を下回ると不況傾向にある。

【季節調整値】

- 季節的な要因で毎年同じような動きをするもの（夏になるとアイスクリームが沢山売れるなど）があることから、前月や前々月と比較する際に季節的な要因を除いた数値。

【現状判断(景気の方方向性)】

- 3か月前の景気状況と比較した、今月の身の回りの景気の具体的な状況などの説明。

【先行き判断】

- 2～3か月先の身の回りの景気を今月の景気と比較した際の判断理由。

※本資料は、2025年8月8日に内閣府が公表した「景気ウォッチャー調査」をもとに作成しています。詳細な結果は下記URLからご確認ください。
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/2025/0808watcher/menu.html>